

Ⅲ 埼玉県「性に関する指導」授業研究会（小学校部会）

令和4年度埼玉県「性に関する指導」授業研究会（小学校）開催要項

1 趣 旨

近年、性情報の氾濫など、子供たちを取り巻く社会環境が大きく変化しており、子供たちが性に関して適切に理解し、行動することができるようにすることが課題となっている。このため、体の発育・発達、心身の健康、性感染症等の予防に関する知識を身に付けること、生命の尊重や自己及び他者の個性を尊重するとともに、相手を思いやり、望ましい人間関係を構築することなどを重視し、これらを関連付けて指導することが重要である。なかでも、学校における性に関する指導の中核である体育科（保健体育科）の保健の授業において、学習指導要領に基づく保健教育の実践は不可欠である。

そこで、学校において発達の段階に応じた適切な指導が実施されるよう、埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員による授業研究会を開催し、研究協議を行う。

2 主 催 埼玉県教育委員会

3 期 日 令和4年11月9日（水）

4 会 場 小鹿野町立小鹿野小学校 秩父郡小鹿野町小鹿野 2678 番地

5 参加者 小鹿野町立小・中学校の教諭（体育科・保健体育科担当）、養護教諭等

6 日 程

- (1) 受 付 午後1時15分～ (職員玄関)
- (2) 開 会 午後1時30分～午後1時45分 (2階 図書室)
- (3) 公開授業 午後1時50分～午後2時35分 (4年松組教室)
- (4) 研究協議 午後3時00分～午後4時30分 (2階 図書室)

7 公開授業

学年	授業者	単元名
4年	神尾 沙英 教 諭 (T1) 阿部 真子 養護教諭 (T2)	体の発育・発達 (イ) 思春期の体の変化

8 指導者及び役員

埼玉県教育局県立学校部保健体育課	教 育 指 導 幹	大松 武晴
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指 導 主 事	咲間 悟
小鹿野町教育委員会学校教育課	指導主事兼副主幹	小野 仁士

埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会委員

埼玉大学教育学部教授	委 員 長	戸部 秀之
川口市立前川東小学校校長	副 委 員 長	岩澤奈々子
桶川市立加納小学校主幹教諭	委 員	高橋 陽太
八潮市立八幡小学校教諭	委 員	藤田 晃輔

(2) 体の発育・発達

(ア) 体の発育・発達

(イ) 思春期の体の変化

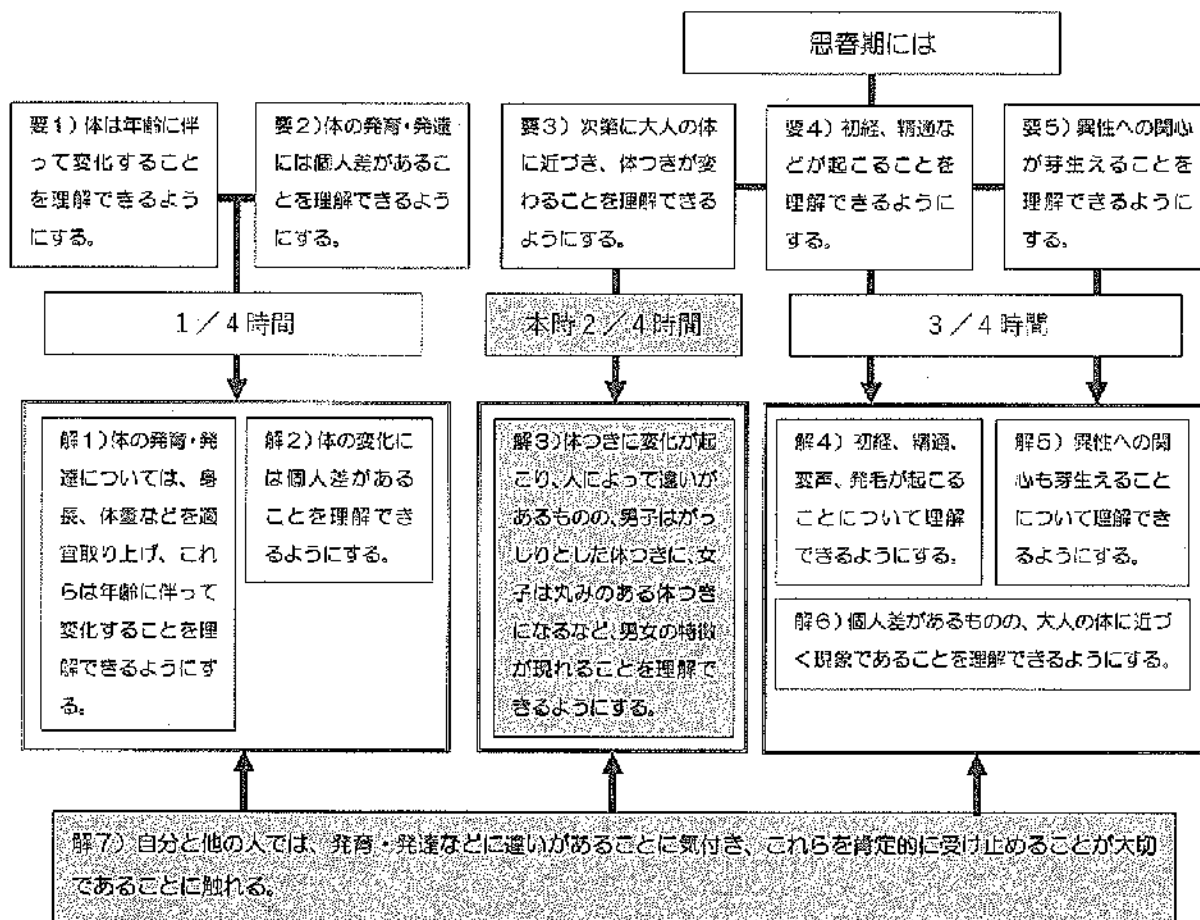
1 指導内容の系統性

中学校では、生殖にかかわる機能の成熟に伴う変化に対応した適切な行動について学習する。その前段階としての小学校段階は、体の発育・発達について、思春期の体の外に現れる変化や体の中に起こる変化、その個人差などを学習し、自分のこととして実感し、肯定的に受け止めることが大切であることに気付かせるよう配慮する。

2 指導内容の明確化

要) 学習指導要領
解) 同解説
の内容を示します。

指導に当たっては、
①発達の段階を踏まえること
②学校全体で共通理解を図ること
③保護者の理解を得ること
などに配慮することが大切である。



3 知識を活用した学習

第2時は、思春期になると、体つきの変化が起こり、人によって違いがあるものの男女の特徴が現れることについて理解し、自分の成長や生活と比べたり、関係を見付けたりするなどして、それらを説明することができるようにすることを目指している。

【導入】(習得①)

〈シルエットクイズ〉

子どもと大人のシルエットを提示し、それぞれ男女の体のみを入れ替え、体つきの違いについて考えさせ、本時の課題に気付かせる。

〈本時の課題〉

私たちの体は、これからどう変化していくのだろうか。

【展開1】(習得②)

〈成長発見ゲーム〉

子どもと大人の体を比べ、体つきが変化しているところに丸をつける。そしてグループで意見を交換し、発表する。

〈指導すべき内容〉

○思春期には、体つきに変化が起こり、人によって違いはあるものの、男子はがっしりとした体つきに、女子は丸みのある体つきになるなど男女の特徴が現れること。
○思春期には、変声、発毛が起こること。

評価【知識・技能】(観察・学習カード)

思春期には、体つきに変化が起こり、人によって違いはあるものの男女の特徴が現れることについて、理解したことを言ったり、書いたりすることができる。

【展開2】(習得③)

〈おうちの人の体験談〉

保護者アンケートの「体つきの変化が現れたときの気持ちや悩み」を紹介し、体の変化の仕方や時期には個人差があることを理解する。

〈指導すべき内容〉

○個人によって早い遅いがあるものの誰にでも起こる、大人の体に近づく現象であること。

【まとめ】(活用①)

〈ケーススタディ〉

体の発育・発達に関する不安や悩みについて、適切なアドバイスを考え、発表する。



評価【思考・判断・表現】(観察・学習カード)

体の発育・発達について、身長や体重などの年齢に伴う体の変化や思春期の体の変化、体の発育・発達にかかわる生活の仕方から課題を見つけている。

第4学年松組 体育科（保健領域）学習指導案

令和4年11月9日（水） 第5校時 4年松組教室
 男子 10名 女子 9名 計19名
 小鹿野町立小鹿野小学校 教諭 神尾沙英（T1）
 養護教諭 阿部真子（T2）

1 単元名「体の成長とわたし」

2 単元について

本単元は、年齢に伴う体の変化と個人差、思春期の体の変化、体をよりよく発育・発達させるための生活について理解できるようにすること、体の発育・発達について、課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現することができるようにすること、体の発育・発達について、健康の大切さに気づき、自己の健康の保持増進に進んで取り組むことができるようにすることの3点をねらいとしている。具体的には、①身長や体重など、体は年齢に伴って変化すること、②思春期には体つきに変化が起こり、男女の特徴が現れること、③思春期には、初経・精通が起こり、異性への関心が芽生えること、④体をよりよく発育・発達させるためには、調和のとれた食事、適切な運動、休養・睡眠が必要であることについて理解を深める。

児童に起こる心や体の変化に対して、大人へと近づく大切な変化であり、個人差や男女差があること、友達と違って当たり前であることに気付かせ、不安を抱かせないように指導し、成長に対する喜びや期待を持たせたい。

3 児童の実態

本学級の児童は、男女の仲がとても良い。休み時間は毎日一緒にレクをし、授業中は男女関係なく勉強の教え合いをしている。学級の中で、ペアやグループを決める際にも、男子のみ女子のみで組むのではなく、自然と一緒に組んでいることが多い。しかし、仲が良すぎて、相手の気持ちを考えずに、なんでも友達に伝えてしまう児童が数名いる。教えてあげることも大切だが、「背中がみえている」「下着が見えている」などの大勢の場で口にされたら恥ずかしいことも、口にしてしまうこともある。また、性に関して関心があるのか、下品な言葉を言って笑いを誘おうとしたり、わざと友達の嫌がることを触って面白がったりする場面も多々見受けられることもあった。

このような現状を踏まえ、これから成長していく自分と友達の体のことについて理解を深め、プライベートゾーンに触られたり、指摘されたりすることが相手に不快を与えてしまうこと、また、自分自身の体の成長を喜んでもらえるように指導したい。

【アンケート結果】

令和4年10月12日（水）実施

	はい	いいえ
1 保健の学習は好きですか？	15	4
2 健康は大切だと思いますか？	19	0
3 おとなとこどもの体は、どこが違うと思いますか？		
体の大きさ、身長、体重、筋肉、丈夫さ		
4 自分の体がおとなに近づいていると感じることはありますか？	16	3
4-1 それは、どんなときですか？		
体が大きくなったとき、身長が伸びているとき、丈夫になったとき		
4-2 それについて何か不安に思ったり、なやんだりすることはありますか？	1	18
5 お家の人と自分の体の発育について話をしたことがありますか？	8	11
6 異性の友だちと仲よく過ごすことはできていますか？	19	0
7 異性と話すとき、はづかしくなることがありますか？	1	18
8 異性にちょっかいをだしておこられたことがありますか？	7	12
9 異性ともっと親しくなりたいと思いますか？	13	6
10 自分の体の発育について学習することは大切だと思いますか？	19	0

事前アンケートの結果から、全ての児童が自身の健康や今後の発育について大切だと感じている。本単元にかかわる体の変化については、身長や体重など目に見える変化に意識が偏っていることが分かった。発毛や変声、体つきに対して、実感を持った変化を感じている児童は少ないため、本単元での学習を他人事として捉えてしまう可能性がある。そのため、これからの体と心の変化を自分ごととして捉え、正しい知識やそれを活用する資質・能力を身に付けさせたい。

4 教師の指導観

保健領域においては、単に知識を理解させるだけではなく、身に付けた知識を活かして、自らの健康課題について考え、行動・改善することができる資質や能力の育成を目指している。本単元において、現時点では、大人になるということを「背が高くなる」「力が強くなる」というように、サイズの変化として考えている児童が多い。そのようなサイズの変化としての捉え方から、体つきの変化、射精や月経などの生理的変化、さらに異性への関心などの心の変化と捉え方を広げ、これから自分に起こる変化を肯定的に受け入れられるよう知識の活用を促す学習活動を充実させる。そのために、以下の具体的な手立てを行う。

- ・児童にアンケートをとり、実態を把握する。体や心の変化を身近なものとして捉え、主体的に学習に取り組むことができるよう活用する。
- ・児童の学習に対する興味や関心を高めたり、児童の実態に合った支援をより効果的に行ったりするため、担任と養護教諭が連携し、TTで授業を行う。
- ・自分や友だちの体について恥ずかしく感じるため、学習をタイズ化、ゲーム化して恥ずかしさを和らげる。
- ・児童が体の変化を身近なこととして、また自分のこととして、より肯定的に受け止められるよう、体つきの変化に関する体験談について、保護者アンケートを取り入れる。
- ・知識を身に付けるだけでなく、習得したことを生活の中でいかせるよう、学習の終わりには、ケーススタディを取り入れ、みんなの考えを交流し、理解を深めることができるような学習活動を取り入れる。

5 単元の目標

- (1) 年齢に伴う体の変化と個人差、思春期の体の変化、体をよりよく発育・発達させるための生活について理解することができるようにする。 【知識及び技能】
- (2) 体の発育・発達について、課題を見付け、その解決に向けて考え、これを表現することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】
- (3) 体の発育・発達について、健康の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組もうとすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】

6 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①身長や体重など年齢に伴う体の変化と個人差について、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②思春期には、体つきに変化が起こり、人によって違いがあるものの男女の特徴が現れることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ③思春期には、初経、精通、変声、発毛が起こり、異性への関心も芽生えること、これらは個人差があるものの、大人の体に近づく現象であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ④体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方には、体の発育・発達により運動、バランスのとれた食事、適切な休養及び睡眠などが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	①体の発育・発達について、身長や体重などの年齢に伴う体の変化や思春期の体の変化、体の発育・発達に関わる生活の仕方から課題を見付けている。 ②体の発育・発達について、自己の生活と比べたり、関連付けたりするなどして、体をよりよく発育・発達するための方法を考えているとともに、考えたことを学習カードなどに書いたり、発表したりして友達に伝えている。	①体の発育・発達について、課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習や資料などを調べたり、自分の生活を振り返ったりするなどの学習に進んで取り組もうとしている。

7 単元の指導と評価計画（全4時間） 本時は○印

時	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
1	I ねらい ・身長や体重など年齢に伴う体の変化と個人差について、理解できるようにする。 II 学習活動 1 身長並び順クイズを行う 2 本時のねらいを確認する。 3 1年～4年時の身長の伸びグラフを作成する。 4 友達と比較して気付いたことを話し合う。 5 いくつかの身長の伸びを示したデータ資料で、身長の伸び方について考える。 6 身長が急に伸びる時期や変化する量は一人一人違うことを知る。 主たる学習内容（知識） ・身長や体重は、年齢に伴って変化する。 ・体の変化には個人差があること。 7 学習のまとめをする。 8 体の発育・発達に関する悩みについて、適切なアドバイスを考え、発表する。 9 振り返りをする。	①			観察 学習カード
②	I ねらい ・思春期には、体つきに変化が起こり、人によって違いがあるものの男女の特徴が現れることについて、理解できるようにする。 ・体の発育・発達について、身長や体重などの年齢に伴う体の変化や思春期の体の変化、体の発育・発達に関わる生活の仕方から課題を見付けることができるようにする。 II 学習活動 1 シルエットクイズを行い、男女の体つきの違いについて考える。 2 本時のねらいを確認する。 3 これから起こる体つきの変化について予想する。 4 成長発見ゲームを行う。 主たる学習内容（知識） ・思春期には、体つきに変化が起こり、人によって違いはあるものの、男子はがっしりとした体つきに、女子は丸みのある体つきになるなど男女の特徴が現れること。 ・思春期には、変声、発毛が起こること。 5 思春期に起こる体つきの変化について確認する。 6 身近な大人の体験談を聞く。 7 体の変化が起こる時期については、個人差があることを知る。 主たる学習内容（知識） ・個人によって早い遅いがあるものの誰にでも起こる、大人の体に近づく現象であること。 8 学習のまとめをする。 9 体の発育・発達に関する悩みについて、適切なアドバイスを考え、発表する。 10 振り返りをする。	②			学習カード (授業後)
			①		観察 学習カード

3	I ねらい ・思春期には、初経、精通、変声、発毛が起こり、異性への関心も芽生えること、これらは個人差があるものの、大人の体に近づく現象であることについて、理解できるようにする。 ・体の発育・発達について、自己の生活と比べたり、関連付けたりするなどして、体をよりよく発育・発達するための方法を考えているとともに、考えたことを学習カードなどに書いたり、発表したりして友達に伝えることができるようにする。 II 学習活動 1 声当てクイズを行い、体の中の変化について考える。 2 本時のねらいを確認する。 3 初経や精通について知る。 4 体の中にかかる変化について考える。 主たる学習内容（知識） ・思春期には、初経、精通が起こること。 ・個人差があるものの、大人の体に近づく現象であること。 5 事例（異性と手をつないでみよう）をもとに、思春期には、異性への関心が芽生えることを知る。 主たる学習内容（知識） ・思春期には、異性への関心も芽生えること。 ・個人差があるものの、大人の体に近づく現象であること。 6 学習のまとめをする。 7 学習した内容を活用し、将来の自分へのメッセージを考える。 8 振り返りをする。	③			観察 学習カード
4	I ねらい ・体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方には、体の発育・発達により運動、バランスのとれた食事、適切な休養及び睡眠などが必要であることについて、理解できるようにする。 ・体の発育・発達について、課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習や資料などを調べたり、自分の生活を振り返ったりするなどの学習に進んで取り組もうとすることができるようにする II 学習活動 1 アンケート結果から、本時のねらいをつかむ。 2 給食の献立から、体がよく育つために必要な食べ物について調べる。 3 よりよい成長に必要な運動の仕方について話し合う。 4 休養と睡眠の役割について資料で調べる。 5 学習したことを自分の生活に当てはめて課題を見付け、これからの生活の仕方について、解決方法を考える。 主たる学習内容（知識） ・体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方には、調和のとれた食事、適切な運動、休養及び睡眠などが必要であること。 6 学習のまとめをする。 7 振り返りをする。	④		①	学習カード (授業後) 観察 学習カード

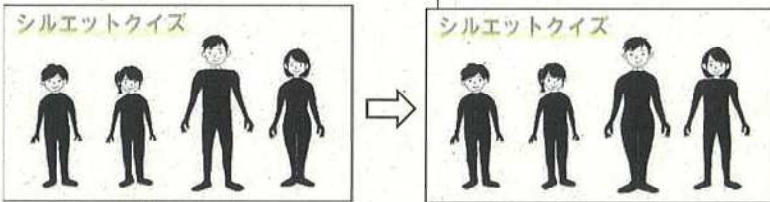
8 本時の学習と指導（2 / 4）

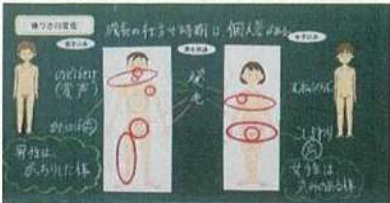
（1）ねらい

- ・思春期には、体つきに変化が起こり、人によって違いがあるものの男女の特徴が現れることについて、理解できるようにする。【知識及び技能】
- ・体の発育・発達について、身長や体重などの年齢に伴う体の変化や思春期の体の変化、体の発育・発達に関わる生活の仕方から課題を見付けることができるようにする。【思考力、判断力、表現力等】

（2）資料及び準備するもの ワークシート、提示資料

（3）展開

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点（指導○ 評価◆）	
		T 1	T 2
導入 5分	1 子どもと大人、男女の体つきの違いについて考える。 シルエットクイズ ・子どもと大人のシルエットを提示し、それぞれ男女の体のみを入れ替える。  C:大人の体に違和感がある ・大人のシルエットはなぜ違和感があるのか発表する。 C:男の人は肩幅が広い、大きい C:女の人はおしりが丸い	T 1 ○子どもと大人のシルエットを提示し、それぞれ男女の体のみを入れ替え、体つきの違いについて考えさせる。 ・子どもは体つきだけでは男女の識別が難しいことを捉えさせる。 ・大人は男女の体つきに違いが見られ、シルエットでも男女が識別できることを確認する。	
	2 本時の学習のねらいを確認する。 【学習課題】 私たちの体は、これからどう変化していくのだろうか。	T 1 ○不安や恥ずかしさもあると思うが、自分にとってとても大切な勉強であることを伝える。	
展開 25分	3 これから起こる体の変化について予想する。 4 体つきの変化について考える。 成長発見ゲーム ・子どもと大人の体を比べ、体つきが変化しているところに丸をつける。 ・グループで意見を交流し、黒板のイラストで成長している部分に印をつける。 主たる学習内容（知識） ・思春期には、体つきに変化が起こり、人によって違いはあるものの、男子はがっしりとした体つきに、女子は丸みのある体つきになるなど男女の特徴が現れること。 ・思春期には、変声、発毛が起こること。	T 1 ○シルエットクイズを振り返りながら、体にどんな変化が起こるのか予想を立てさせる。 T 1 ○恥ずかしさを軽減させるため、ゲーム性を持たせ、体つきの変化を見つけるよう指示する。 T 2 ○困っている児童がいたら、シルエットクイズを想起させ、適宜助言を行う。 ◆思春期には、体つきに変化が起こり、人によって違いがあるものの男女の特徴が現れることについて、理解したことを言ったり、書いたりしている。【知識・技能】 「努力を要する」状況（C）と判断される児童への指導の手立て ・シルエットクイズや板書を振り返らせたり、資料等で具体的に説明したりする。 	

	5 思春期における男女の体つきの変化について確認する。 	T 1 ○体つきの変化について説明を入れながら、答え合わせを行う。 
	6 身近な大人の体験談を聞く。 男性の体験談（男子のなやみ） まわりより成長が早い方だったので、修学旅行でお風呂に入った時にみんなにからかわれ、いやな思いをしました。 	T 1 ○保護者アンケートから「体つきの変化が現れたときの気持ちや悩み」を紹介する。 女性の体験談（女子のなやみ） 友達から「おしりがデカイ」とよくからまれていた。おしりが大きいことが後ろから見て「良くない」「変」だと思っていた。  女性の体験談（女子のなやみ） 友達よりはやく目がくらんだので、どう見えているのか、下着がすけない不安だった。 小学生の頃は、おちち、体つきの変化はあまりありませんでした。まわりの子は目がくらんでブラジャーをしていたりしたので、自分は大丈夫かと不安になることもありました。 
	7 体の変化が起こる時期には個人差があることを知る。 主たる学習内容（知識） 個人によって早い遅いがあるものの誰にでも起こる、大人の体に近づく現象であること。	T 1 ○前時の身長の時と同様、変化の仕方やあらわれる時期には男女差や個人差があることを伝える。 これから起こる自分の体の変化に対して、嫌悪感や劣等感を抱かないように配慮する。
	8 学習のまとめをする。 思春期に起こる体の変化について、ワークシートに記入する。 ① 私たちの体は、男性はがっしりとした体つき、女性は丸みのある体つきに変化し、変声や発毛などが起こる。体の成長の仕方やあらわれる時期には個人差がある。	
まとめ 15分	9 体の発育・発達に関する不安や悩みについて、適切なアドバイスを考え、発表する。 ケース1：わきや性器に毛がはえているから、だれかにからかわれそう。 ケース2：おしりが大きくなってきた。変なのかな。 ケース3：なぜか声が低くなってきた。声を出すのがはずかしい。 ケース4：友達とくらべて、むねが大きくなってきてははずかしい。 C：体の変化はみんな起こることだから心配なくて大丈夫だよ。 C：個人差があるから友達と比べなくていいんだよ。	T 1 ○保護者アンケートの「体つきの変化が現れたときの悩み」に対して、アドバイスを考えさせる。 - 異性の悩みも理解できるよう、男女どちらの悩みにもアドバイスをしよう促す。 - 本時の学習を生かしたり、自分の発育・発達と結び付けたりしてアドバイスを書くよう伝える。 ◆体の発育・発達について、身長や体重などの年齢に伴う体の変化や思春期の体の変化、体の発育・発達にかかわる生活の仕方から課題を見付けている。 【思考・判断・表現】 「努力を要する」状況（C）と判断された児童への手立て - 自分の身長や体重などの年齢に伴う変化や生活の仕方を振り返らせ、課題に気付けるように促す。 T 1 ○児童の記述から意図的に指名し、適切なアドバイスを共有する。

1	2	3	4
もうすぐ、中学校があるんだ。ぼくは、 思春期になったら身長が伸びる、お風呂 に入るときにどれかにかかわれそ う……。それから先でみんなと入りたいな。 成長の仕方や時期 は、<u>個人差がある</u>か ら気にしないぞ。	朝の目が大きくなってきて、友達に笑われ て……。わたしは、思春期になったら、 身長が伸びる、お風呂に入るときに どれかにかかわれそう……。それから 先でみんなと入りたいな。 成長の仕方や時期 は、<u>個人差がある</u>か ら気にしないぞ。	思春期に入ろう。なぜだか、声がかんた ん低くなってしまった。身長も伸びる、 お風呂に入るときにどれかにかかわれ そう……。それから先でみんなと入 りたいな。 成長の仕方や時期 は、<u>個人差がある</u>か ら気にしないぞ。	思春期に入ろう。なぜだか、声がかんた ん低くなってしまった。身長も伸びる、 お風呂に入るときにどれかにかかわれ そう……。それから先でみんなと入 りたいな。 成長の仕方や時期 は、<u>個人差がある</u>か ら気にしないぞ。
10 ふりかえり。 T2○体の変化は誰にでも起こることなので、心配しな くてよいことを伝える。 ・質問したいことや不安なことがあったら、いつで も相談してよいことを伝え、日常における個別の 指導につなげる。 T1○本時の学習内容の定着を図り、次時につなげる。 ・身長や体つきだけでなく、体のはたらきや心にも 変化が起こることについて触れる。			
今日の学習では <u>おとなになるという変化が来ることを知りました。</u> 今日の学習では <u>成長のしかたがわかることがわかりました。</u>			

9 板書計画

体の成長とわたし
思春期にあらわれる変化

私たちの体は、これか
らどう変化していくの
だろうか。

シルエットクイズ

⑤ 私たちの体は、男性はがっしりとし
た体つき、女性は丸みのある体つき
に変化し、変声や発毛などが起こ
る。体の成長の仕方やあらわれる時
期には個人差がある。

体つきの変化

〈男子のみ〉 〈男女共通〉 〈女子のみ〉

アドバイス

ケース1

アドバイス

ケース2

アドバイス

ケース3

アドバイス

ケース4

アドバイス












体の成長とわたし

思春期にあられる変化

課

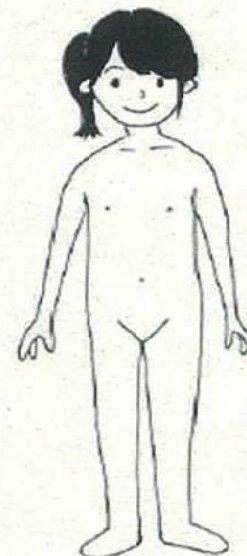
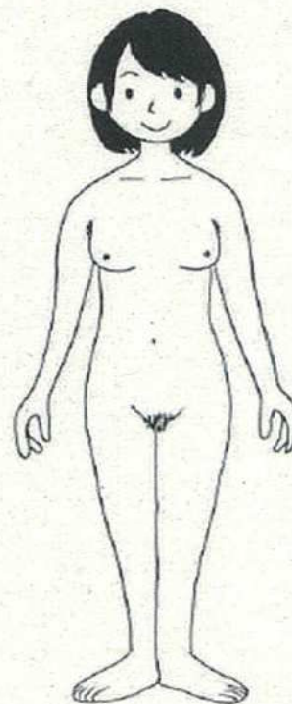
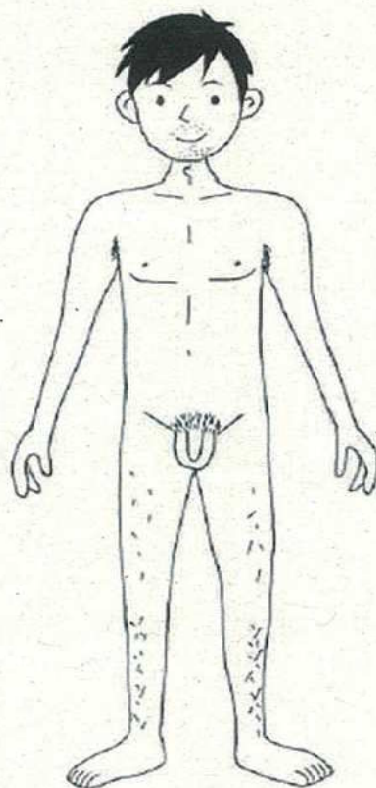
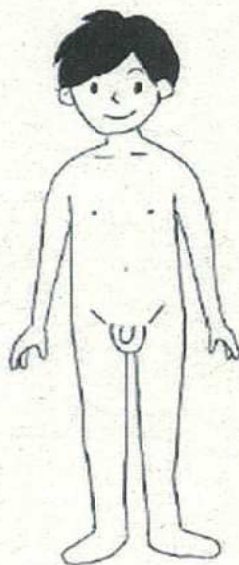
ま

男性の体は・・・

成長の仕方や成長が起こる時期には、

がある。

女性の体は・・・



おなやみ相談タイム

体のことでなやんでこまっている友達に、みんながアドバイスをしてあげよう。これは、じっさいにみんなのお家の人がなやんでいたことだよ。

1

もうすぐ、林間学校があるんだ。ぼくは、わきや性器に毛がはえているから、お風呂に入るときにだれかにからかわれそう……。それが心配でみんなと入りたくないな。



2

おしりが大きくなってきて、友達に笑われちゃった……。わたしって、変なのかな。よくないことなのかな。



3

どうしてだろう。なぜだか、声がだんだん低くなってきちゃった。発表するときや、歌を歌うときに声を出すのがはずかしいな。



4

周りの友達とくらべて、むねが大きくなってきちゃってはずかしいな。体育の時、半そでになるのがいやだよ～。



1～3班の人が取り組もう！（早く終わったら、3・4番もやってみよう。）

4～6班の人が取り組もう！（早く終わったら、1・2番もやってみよう。）

ふりかえり

保健の学習 保護者アンケートご協力のお願い

これから保健の授業で「体の発育・発達」について学習していきます。
子どもたちにとっては少し照れてしまうような内容も扱いますが、思春期の入り口にさしかかっている
4年生にとって、今後、心や体がどのように変化していくか知ることは重要なことです。

個人差があること、決して恥ずかしいことではないということを伝え、
自分自身と周りの人たちを大切にする気持ちを育てたいと思っています。

大人になるにつれて起こった体つきの変化について、
保護者の皆様の体験談等を教えていただけたらと思います。ご協力よろしくお願いします。

4年 組 児童名 _____

保護者名 _____

- 1 **女性用** 体つきの変化が現れたとき、どんな気持ちでしたか？ また、不安に思ったり悩んだり
したことはありましたか？ エピソード等あればお聞かせください。
(友達よりはやく胸がふくらみ、気にしていた … など) ※紹介する際は、匿名で紹介します。

- 2 **男性用** 体つきの変化が現れたとき、どんな気持ちでしたか？ また、不安に思ったり悩んだり
したことはありましたか？ エピソード等あればお聞かせください。
(声変わりが遅く、声が高いのが恥ずかしかった … など) ※紹介する際は、匿名で紹介します。

- 3 これから思春期を迎えるお子様へメッセージをお願いします。(メッセージはあとで切り取り、お子様に渡します)

_____ ^

_____ より

ご協力ありがとうございました。
この用紙を封筒に入れ、〇〇月〇〇日(〇)までに提出をお願いします。

Ⅲ 埼玉県「性に関する指導」授業研究会（中学校部会）

令和4年度埼玉県「性に関する指導」（保健教育）授業研究会実施要項

1 趣 旨

近年、性情報の氾濫など、子供たちを取り巻く社会環境が大きく変化しており、子供たちが性に関して適切に理解し、行動することができるようにすることが課題となっている。このため、体の発育・発達、心身の健康、性感染症等の予防に関する知識を身に付けること、生命の尊重や自己及び他者の個性を尊重するとともに、相手を思いやり、望ましい人間関係を構築することなどを重視し、これらを関連付けて指導することが重要である。なかでも、学校における性に関する指導の中核である体育科（保健体育科）の保健の授業において、学習指導要領に基づく保健教育の実践は不可欠である。

そこで、学校において発達の段階に応じた適切な指導が実施されるよう、埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員による授業研究会を開催し、研究協議を行う。

2 主 催 埼玉県教育委員会

3 期 日 令和4年10月28日（金）

4 会 場 所沢市立所沢中学校 所沢市けやき台2-44-1

5 参加者 所沢市立中学校の教諭（保健体育科担当）、養護教諭等 ※各校1名まで

6 日 程

- (1) 受付 午後1時00分～ (2階 大会議室)
- (2) 開 会 午後1時20分～午後1時40分 (2階 大会議室)
- (3) 公開授業 午後1時50分～午後2時40分 (4階 1年3組教室)
- (4) 研究協議 午後3時00分～午後4時30分 (2階 大会議室)

7 公開授業

学年	授業者	单元名
1年	落合和香奈 教 諭 (T1)	(2) 心身の機能の発達と心の健康
	三好明日美 養護教諭 (T2)	(イ) 生殖に関わる機能の成熟

8 指導者及び役員

埼玉県教育局県立学校部保健体育課	教 育 指 導 幹	大松 武晴
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指 導 主 事	咲間 悟
所沢市教育委員会保健給食課	指 導 主 事	畑中 結季

埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会委員

埼玉大学教育学部教授	委 員 長	戸部 秀之
川口市立前川東小学校校長	副 委 員 長	岩澤奈々子
深谷市立深谷中学校主幹教諭	委 員	松島 直司
春日部市立東中学校教諭	委 員	江夏 彩香

(2)心身の機能の発達と心の健康

(イ)生殖に関わる機能の成熟

1 指導内容の系統性

小学校では、体の発育・発達の一般的な現象や個人差、思春期の体つきの変化や初経、精通、異性への関心が芽生えることなどを学習している。また、心も体と同様に発達し、心と体は密接な関係があることなどを学習している。

2 指導内容の明確化

ア) 知識及び技能

要)：学習指導要領
解)：同解説
の内容を示します。

要1) 思春期には、

指導に当たっては、
①発達段階を踏まえること
②学校全体で共通理解を図ること
③保護者の理解を得ること
などに配慮することが大切である。

要2) 内分泌の働きによって生殖に関わる機能が成熟することを理解できるようにする。

要3) 成熟に伴う変化に対応した適切な行動が必要になることを理解できるようにする。

解1) 下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経がみられ、妊娠が可能になることを理解できるようにする。

身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し

解2) 性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることを理解できるようにする。

《指導案作成》
4/4 時間

イ) 思考力、判断力、表現力等

要4) 心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにする。

解3) 心身の機能の発達と心の健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどと関連付けて、解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができるようにする。

3 知識を活用した学習活動（4／4）

第1時では、小学校で得た知識を元に、思春期に起こる体の変化が下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きによって生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経が見られ、妊娠や出産が可能となるような成熟が始まることを理解し、単元の学習活動を始める。また、「異性を尊重し合い生活していくため」の課題や問題点について考える。第2、3時では、前時で出た課題や問題点から一人ひとり課題を選び、課題や解決方法についてスライドにまとめる。本時では、スライドにまとめたものを発表し合い、対話を通して意見を出し合い、課題解決に向けて思考を深め、身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要になることを理解できるようにするため、次の手立てを講ずることとした。

導入

習得① 小学校で得た知識を元に、思春期には、生殖器が急速に発育し生殖機能が発達することで、男子には射精（精通）、女子には月経（初経）が起き、妊娠や出産が可能となるような成熟が始まることを理解する。

展開① 「異性を尊重し合い生活していくため」の課題や問題点について考え、自分の考えを言ったり、書いたりして学級内で共有する。→尊重し合うためには、お互いの事を理解し合う必要がある。そのために、男女の心身の発達や変化、違いがあることに気づき、学習していく必要感を持たせる。

展開② 「異性を尊重し合い生活していくためには」という共通のテーマを通して、主体的に課題設定し、タブレットを用いて探究学習を行い、スライドにまとめる。

習得②

主体的に設定した課題（生殖機能の発達、受精と妊娠、性情報の対処法、心の発達に伴う性衝動等への対処など）について各自で調べ理解を深める。

活用①

主体的に設定した課題について、習得した知識を自分の生活にあてはめ、「異性を尊重し合い生活していくため」に理解してほしいことや課題解決に役立てながら各自でスライドにまとめる。

まとめ

展開③

各自でまとめたスライドを2人1組でペアを替えながら発表し合う。

習得③

自分の調べていない知識を積極的に共有し、知識の整理を行い、深い学びに繋げる。

活用②

自分のまとめたことや他者の発表を聞いて理解したことを言ったり、書いたりしてまとめる。

評価（主体的に取り組む態度）【スライド】

生殖機能の発達や心身の発達について課題解決に向けた学習活動に自主的に取り組もうとしている。

評価（知識・技能）【ワークシート】

思春期には、内分泌の働きによって生殖に関わる機能が成熟すること、成熟に伴う変化に対応した適切な行動が必要となることについて、理解したことを言ったり、書いたりしている。

評価（思考・判断・表現）【スライド発表】

心身の機能の発達について、習得した知識を自他の生活に適用したり、課題解決に役立てたりして、発達の状況に応じた健康を保持増進する方法を選択し、それらを伝え合っている。

保健体育科（保健分野）学習指導案

令和4年10月28日（金）第5校時 1年3組教室

第1学年3組

男子19名 女子16名

所沢市立所沢中学校 教諭（T1） 落合 和香奈

養護教諭（T2） 三好 明日美

1. 単元名「心身の機能の発達と心の健康」（イ）生殖にかかわる機能の成熟

2. 単元について

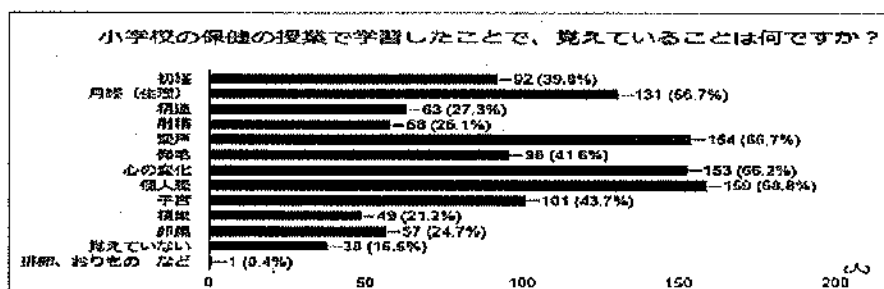
中学生期は、身体的な成熟に伴う生殖機能の発達に応じて性衝動が生じたり、自己の認識や異性への関心などが高まったりする時期である。また、体の変化が著しく個人差も大きいことから、その変化に戸惑い、不安や悩みをもつようになる時期でもある。本単元では、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経がみられ、妊娠が可能になることを科学的に理解し、性的な発達に対応して、異性の尊重、性情報への対処など、性に関する適切な態度や行動の選択が必要であることを理解し、体や心の変化を肯定的に受け止め、自分や周りの人を大切に思いやる気持ちを育てたい。

3. 生徒の実態

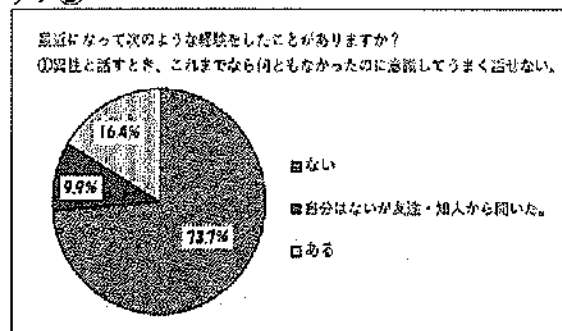
本校生徒は、近隣の2つの小学校を中心に複数の小学校から進学してくる。小学校での性に関する学習は、授業で学習した内容より、宿泊学習前の指導が記憶に残っている生徒が多い。そのため、グラフ①でも分かるように、生理に関しての内容を記憶している生徒が多く、精通や射精はその半分以下であり、生徒に定着している知識の量に差があることが分かる。本校生徒は、明るく、前向きに生活している生徒が多く、学習に対しても関心が高い。また、自分の身近な話題に対して、真摯に受け止め課題を発見し解決したいと積極的に質問したり、自ら調べたり、友達同士話し合う姿が見られる。グラフ②③でわかるように、全体の一部の生徒以外はまだ異性に関心が低く、休み時間も男女仲良く生活している姿も見られる。しかしながら、スクールタクトにも表れているように、異性尊重への課題点として「男女で壁を感じる」、「お互いの体や気持ちを知らない」と感じている生徒が多く、これらの課題点を自分事として捉え、課題解決していけるような学習活動の工夫をしていきたい。

【アンケート結果】

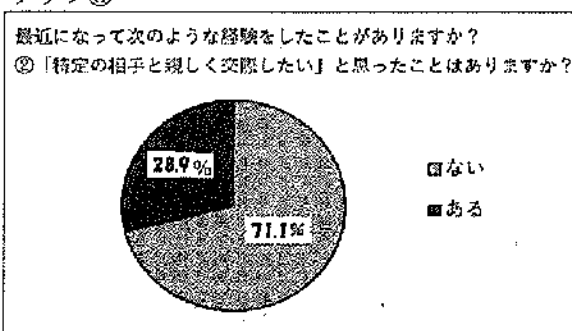
グラフ①



グラフ②



グラフ③



個人 社会 腹痛人 雲團気 自分 知らない 生理 協力
 舌の生理痛 見学 お互い 男女月経
 情報 症状大切
 女子 生理 男子
 下ネタ 女性 知る気 体罰
 気持ち しらす 理解 異性 体 デリカシー 気え 使用
 意気 関係 相手互いでき 早い男性性

減少 健全 セックス不要論 子育て 卒業休
自分レスジェンダー 性別性 認識
行動 気持ち知らない 女子 知る 問題人
急ぎ 関係
大切 理解
損する 位置
バカ 課題
感銘 成長
壁 男女 差別
同性 男子
物事 考え方 異性 お互い レッテル
LGBTQ コミュニケーション 高力
新しいグループ 相手 オトガイ男 差別違い

6. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に向かう態度
①思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経が見られ、妊娠が可能となることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	①生殖に関わる機能の成熟について、習得した知識を自他の生活に適用したり、解決方法を考えたりして、適切な方法を選択し、それらを伝え合っている。 ②性機能の成熟について、課題の解決方法とそれを選択した理由などを、スライド元に他者と話し合ったりワークシートに記述したりして筋道を立てて伝え合っている。	①心身の機能の発達と心の健康について、課題解決に向けた学習活動に自主的に取り組もうとしている。

7. 単元の指導と評価計画（4時間）本時は○印

時	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
1	I ねらい ・思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経が見られ、妊娠が可能となることについて、理解できるようにする II 学習活動 1 本時のねらいを確認する。 2 生殖機能の成熟について理解する。 主たる学習内容（知識） ・思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経が見られ、妊娠が可能となること。 3 「異性を尊重し合い生活していくため」の課題や問題点について考える。 4 本時のまとめ	①			ワークシート スクールタクト 観察
2	I ねらい ・心身の機能の発達と心の健康について、課題解決に向けた学習活動に自主的に取り組もうとすることができるようにする。 II 学習活動 1 前時の復習、本時のねらいを確認する。 2 「異性を尊重し合い生活していくため」の課題や問題点から課題を選び、探究学習を行う。 【探究学習のテーマ】 ・男子の体のしくみ ・女子の体のしくみ ・性情報について ・付き合うことについて ・受精と妊娠のしくみについて ・その他 3 課題や問題点、解決方法をスライドにまとめ、伝え合う準備			①	ワークシート スライド 観察

	をする。 4 本時のまとめ				
3	I ねらい ・生殖に関わる機能の成熟について、習得した知識を自他の生活に適用したり、解決方法を考えたりして、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができるようにする。 II 学習活動 1 前時の復習、本時のねらいの確認をする。 2 課題とその解決方法をスライドにまとめ、伝え合う準備をする。 3 スライドを用いて隣同士で発表し合い、グッジョブカードで評価し合う。 4 自他の評価から、筋道を立てて伝え合うことができるように発表内容の加筆修正を行う。 5 本時のまとめ		①	ワークシート グッジョブカード スライド 観察	
④	I ねらい ・身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることについて、理解することができるようにする。 ・機能の成熟について、課題の解決方法とそれを選択した理由などを、スライド元に他者と話し合ったりワークシートに記述したりして筋道を立てて伝え合うことができるようにする。 II 学習活動 1 「異性を尊重し合い生活していくため」の課題や問題点を振り返る。 2 本時のねらいと学習内容を確認する。 3 2人1組でペアを替えながらスライド発表を行う。 4 習得した知識を確認、整理する。 5 本時のまとめ		②	ワークシート グッジョブカード スクールタクト 観察	
	主たる学習内容（知識） ・身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となること。	②		ワークシート (授業後)	

8. 本時の学習と指導（4／4）

（1）ねらい

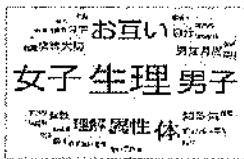
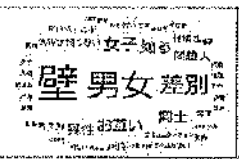
- ・身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることについて、理解することができるようにする。 ＜知識及び技能＞
- ・機能の成熟について、課題の解決方法とそれを選択した理由などを、スライド元に他者と話し合ったりワークシートに記述したりして筋道を立てて伝え合うことができるようにする。

＜思考力、判断力、表現力等＞

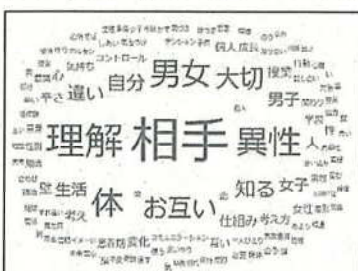
（2）資料及び準備するもの

パワーポイント、ワークシート、グッドジョブカード、タブレット（発表用スライド、スクールタクト）

（3）展開

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点・評価（指導○ 評価◆）
		T1 教諭 T2 養護教諭
導入（5分）	1 「異性を尊重し合い生活していくため」の課題や問題点を振り返る。 ・「異性を尊重し合い生活していくため」の課題や問題点について、生徒の考えをスクールタクトのワードクラウドにして提示する。 （男子）  女子生理男子 （女子）  壁男女差別	T2 ○1 時間目に生徒が回答した「異性を尊重し合い生活していくため」の課題や問題点について、スクールタクトのワードクラウドにまとめたものを共有し、男女それぞれの考えを確認する。 ○男女とも、男女で「壁」を感じていること、お互いに知らないことが課題であると感じていること、お互いに理解する必要があると感じていることについて確認する。 ○異性を尊重するためには、相手を知ること、自分を知ってもらうことが大切であることを伝え、スライド発表への意識づけをする。
	2 本時のねらいと学習内容を確認する。 ・思春期における心身の成長についてまとめよう。 ・思春期の変化に応じた適切な行動とは何だろう。	○本時の課題を黒板に掲示する。
	3 2人1組でペアを替えながらスライド発表を行う。	T1 ○発表方法、ワークシートの記入について説明し、学習の見通しを持たせる。 T2 ○助言が必要な生徒への支援を行う。

展開 (30分)	・発表の方法とワークシートの記入について確認する。 ①1人目発表(2分) ②質疑応答及び感想を伝え合う(1分) ③2人目発表(2分) ④質疑応答及び感想を伝え合う(1分) ⑤グジョブカード記入、交換(2分) ⑥ワークシート記入 ⑦移動 ・ペアを決める際にわかりやすくなるよう、テーマ毎にスライドの表紙を色分けする。 ・ワークシートの全ての項目を埋められるように自身でテーマを選んで聞きに行く。  	T1 T2 ○女子が席を移動し、話を聞きたいテーマの席に座る。 ○1度目のペアで発表し終わったら、男子が席を移動する。 ○生徒の能動性が発揮されるよう、また生徒の思考の流れが中断しないよう、タイマー等で時間を区切らずに生徒の様子を見ながら声かけを行う。   ◆性機能の成熟について、課題の解決方法とそれを選択した理由などを、スライド元に他者と話し合ったりワークシートに記述したりして筋道を立てて伝え合っている。【思考・判断・表現】(スライド、観察) 「努力を要する」状況(C)と判断される生徒への指導の手立て ・発表原稿を確認するよう促し、スライドの内容に合わせてできる部分について発表させるようにする。 ・相手の発表の際に質問や意見を考えながら聞くためにメモを取るよう助言する。
まとめ (15分)	4 習得した知識を確認、整理する。 ・自席に戻る。 ・生徒の発表や養護教諭の説明を聞き、ワークシートを整理する。 主たる学習内容(知識) ・身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となること。	T2 ○生徒の得た知識の確認をする。 ○パワーポイントを活用して、知識の整理と確認を行う。   ○思春期におけるこれらの変化は、新しい生命を作り出す大人の体に成長している喜ばしい変化であること、また、性意識の違いを理解し、気持ちをコントロールしなければならないことを伝える。 T1 ○パワーポイントによる説明のペースに遅れている生徒がいないか確認する。

・「異性を尊重し合い生活していくため」にわかったことや自分ができていることを考え、スクールタクトにまとめ、クラスで共有する。  ・学習したことを振り返り、ワークシートに記入する。 ・生徒同士で感想を言い合い、深い学びに繋げる。	◆身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。【知識・技能】(スライド、ワークシート) ※授業後 T2 ○「異性を尊重し合い生活していくため」に今日までの学びを振り返り、思いやりを持って生活していけるよう伝える。
---	--

9 板書計画

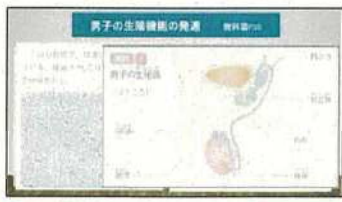
めあて

思春期における心身の成長についてまとめよう。

思春期の変化に応じた適切な行動とは何だろう。

まとめ

知識の整理


性意識の変化

男性・女性ホルモンの分泌 脳が刺激を受ける

→ 性意識に変化が現れる

異性への関心、性的なものへの関心が高まる

→ 性的欲求、性衝動

→ 性意識の **違い** を理解する。

→ **コントロール** しなければならない。

性情報への対応と行動

身の回りには、性情報があふれている。性情報を捕らえ、性情報で色んな情報なのかを判断し、責任ある行動を選択するために、大切なことはどんなことか。

- 不適切な内容があることを知る。
- 正しい知識を身に付ける。
- 責任ある行動選択ができるようになる。
- 危険性を考えてSNSなどを利用する。

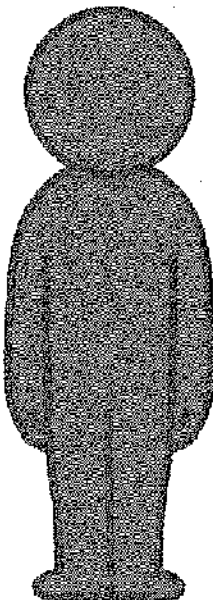
10 生徒感想

- ・男女それぞれ心身ともに変化の現れる時期だからこそ、無意識のうちに作っている「壁」がなくなるように、異性のことについて調べたところ、生理、受精、付き合うこと、女子の意見を聞くことで理解を深められ、発表では調べたことを伝わりやすいようにまとめることができました。
- ・男女の壁や差別をなくすために、男の体・女の体のしくみ、性情報などについて学んだ。男や女にしかない体の部分や、思考の違いを知れたので、それを活かして今後生活していきたい。また、正しい知識を学んでいき、これからもっと異性との生活を楽しく過ごしていきたい。
- ・この授業では、今まで知らなかった生理のことや妊娠のことについて先生の話や友達の発表、自分で調べたことで色々を知ることができた。今回、性について学んで、異性を尊重することがとても大切だと思った。異性を尊重するためには、相手の性のこと、自分の性のことを正しく理解することが大切だと思った。そうすることで、相手を気遣うことができたりする。この授業で学んだ事をこれからの生活に活かしていきたい。

3. 生殖機能の成熟 4. 性とどう向き合うか 【命の授業1年生】			
1. 年	組	番	名前

教科書 P.48～53

1. 自分で調べたことや友達の発表を聞いて学習したことをまとめよう。

【男子の体の仕組みについて】		【受精と妊娠の仕組みについて】
【女子の体の仕組みについて】		【性情報・つきあうことについて】
【その他】		

2. 友達の発表を聞き、学んだことや新たな発見をグッジョブカードで伝え合おう！

もらったグッジョブカードを貼る場所

3. 授業で学んだことや、今後の生活に活かしていこうと思ったことを書こう。

Ⅲ 埼玉県「性に関する指導」授業研究会（高等学校部会）

令和4年度埼玉県「性に関する指導」授業研究会（高等学校）開催要項

1 趣 旨

近年、性情報の氾濫など、子供たちを取り巻く社会環境が大きく変化しており、子供たちが性に関して適切に理解し、行動することができるようにすることが課題となっている。このため、体の発育・発達、心身の健康、性感染症等の予防に関する知識を身に付けること、生命の尊重や自己及び他者の個性を尊重するとともに、相手を思いやり、望ましい人間関係を構築することなどを重視し、これらに関連付けて指導することが重要である。なかでも、学校における性に関する指導の中核である体育科（保健体育科）の保健の授業において、学習指導要領に基づく保健教育の実践は不可欠である。

そこで、学校において発達の段階に応じた適切な指導が実施されるよう、埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会による授業研究会を開催し、研究協議を行う。

2 主 催 埼玉県教育委員会

3 期 日 令和4年11月8日（火）

4 会 場 県立和光国際高等学校 和光市広沢4-1

5 参加者 県内公立高等学校及び特別支援学校の教員（保健体育科授業担当者等） *今年度の初任者（保健体育授業担当者等）については、可能な限り出席するよう御配慮願います

6 日 程

- | | | |
|----------|-----------------|------------|
| (1) 受付 | 午後1時10分～ | (2階 視聴覚室前) |
| (2) 公開授業 | 午後1時40分～午後2時35分 | (2階 視聴覚室) |
| (3) 全体会 | 午後2時50分～午後3時10分 | (2階 視聴覚室) |
| (4) 研究協議 | 午後3時15分～午後4時30分 | (2階 視聴覚室) |

7 公開授業

学年	授業者	単元名
2年	山田 一輝 教 諭 (T1) 有藤美智子 養護教諭 (T2)	(3) 生涯を通じる健康 (ア) 生涯の各段階における健康 ①結婚生活と健康

8 指導者及び役員

埼玉県教育局県立学校部保健体育課	課 長	松中 直司
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指 導 主 事	咲間 悟

埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会委員

埼玉大学教育学部教授	委 員	長	戸部 秀之
川口市立前川東小学校校長	副 委 員	長	岩澤奈々子
桶川市立加納小学校主幹教諭	委 員	員	高橋 陽太
小鹿野町立小鹿野小学校養護教諭	委 員	員	阿部 真子
八潮市立八幡小学校教諭	委 員	員	藤田 晃輔
深谷市立深谷中学校主幹教諭	委 員	員	松島 直司
春日部市立東中学校教諭	委 員	員	江夏 彩香
所沢市立所沢中学校養護教諭	委 員	員	三好明日美
県立川越初雁高等学校教諭	委 員	員	小貫 拓也
県立北本高等学校教諭	委 員	員	川尻鈴ノ介

(3)生涯を通じる健康

(ア)生涯の各段階における健康

1 指導内容の系統性

中学校では、「心身の機能の発達と心の健康」において、年齢に伴って身体の各器官が発育し、機能が発達することを呼吸器、循環器を中心に取り上げるとともに、発育・発達のと期や程度には個人差があること、また、思春期は、身体的には生殖にかかわる機能が成熟し、精神的には自己形成の時期であることなどを学習している。

2 指導内容の明確化

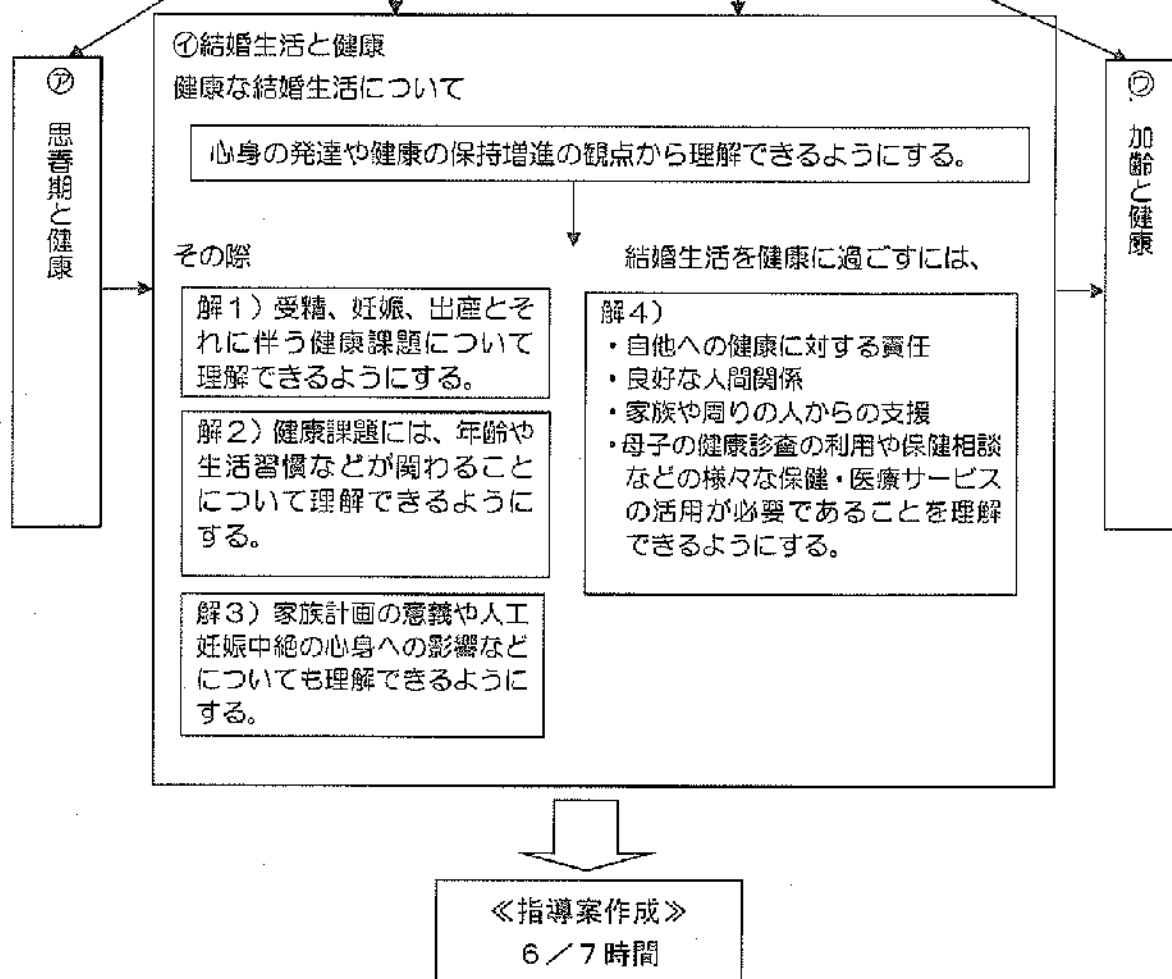
要) 学習指導要領
解) 同解説
の内容を示します。

要1) 生涯を通じる健康の保持増進や回復には、

要2) 生涯の各段階の健康課題に応じた

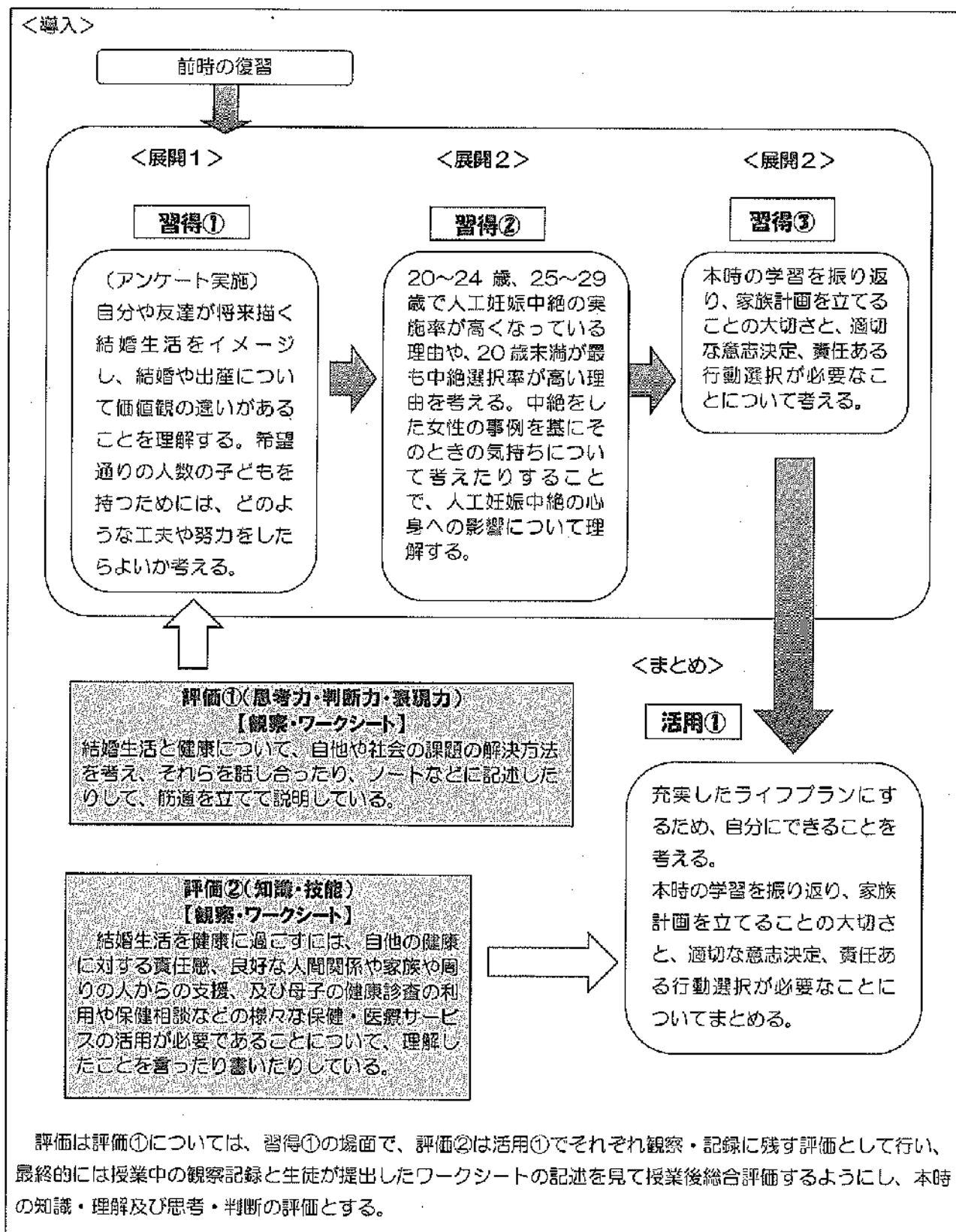
要3) 自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解できるようにする。

指導に当たっては、
①発達段階を踏まえること
②学校全体で共通理解を図ること
③保護者の理解を得ること
などに配慮することが大切である。



2 知識を活用した学習活動（6／7時間目）

事前アンケートを実施し興味を持たせ、一般データを基にグループで話し合ったり、自分たちの意見を出し合ったりすることで、思考を深めていく。また、学んだ知識を活用して、家族計画を立てることの大切さを理解させ、適切な意志決定、責任ある行動を取れる思考力・判断力を育成する。



保健体育科（科目保健）学習指導案

令和4年11月8日（火） 第5時限 視聴覚室

第2学年8組 男子19名 女子20名

指導者 教 諭 山田 一輝

養護教諭 斉藤美智子

1 単元名 (3) 生涯を通じる健康 「生涯の各段階における健康」

2 単元について

生涯を通じる健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、生涯を通じる健康について理解を深めるとともに、生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにする。生涯の各段階においては、健康に関わる様々な課題や特徴があり、生涯にわたって健康に生きていくためには、生涯の各段階と健康との関わりを踏まえて、適切な意思決定や行動選択及び社会環境づくりが不可欠であることを理解できるようにする。また、生涯の各段階や労働における健康課題の解決に向けて思考・判断・表現できるようにする。

3 生徒の実態

本校では「国際社会で必要とされるグローバルリーダー」を教育理念に掲げている。そのための要素の一つ目として「共生力」を挙げており、互いの立場、考え方、文化の違いを乗り越え、まさに地球規模で共存共栄を果たす力を育てたいとしている。性教育に関しても、多様性を重視し、女子のスラックスを採用するなどLGBTQへの理解も示している。また、年に1回、1年生を対象に養護教諭による性教育の授業を行っており、授業の感想で「中学までは性についての興味関心がなかったが、今後は将来のために勉強していきたい」といった前向きな意見が多くみられた。

他教科の学習については真面目に取り組む生徒が多く、グループ活動でのディスカッションでは意見を活発に出し合うことが出来る。しかし、性教育については恥ずかしさから自分の意見を言いづらい雰囲気があるため、工夫した内容で将来のライフプランを考える力を育てたい。

4 教師の指導観

高校生期は、性的成熟に伴い、心理面や行動面が大きく変化する時期である。これらの変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を尊重する態度が必要であること、及び、性に関する情報への適切な対応が必要である。このようなことから、適切な意思決定・行動選択ができる資質・能力を身に付けさせることをねらいとして資料により正しい知識を身に付け、タブレットを活用したアンケートを実施してさらに定着させることで、より深く、活発なディスカッションができるようにしたい。

なかでも、人工妊娠中絶は心身に大きな影響を与えることや、望んでも妊娠できずにいる人がいるということ、妊娠・出産・育児には様々な準備が必要であることを理解させることで、家族計画の意義について考えさせたい。正しい知識と判断力を身に付け、自分の人生を大切にしようとする気持ちを持たせたい。

5 単元の目標

- (1) 生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることについて、理解できるようにする。 <知識及び技能>
- (2) 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを説明することができるようにする。 <思考力、判断力、表現力等>
- (3) 生涯を通じる健康について、自他の健康の保持増進や回復、それを支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。 <学びに向かう力、人間性等>

6 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②思春期における変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ③心身の発達や健康の保持増進の観点から、結婚生活を健康に過ごすための留意点について、理解したことを言ったり書いたりしている。 ④受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題、及び健康課題には年齢や生活習慣などが関わることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ⑤家族計画の意義や、人工妊娠中絶の心身への影響などについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ⑥結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ⑦中高年期を健やかに過ごすためには、自己管理を行うこと、高齢期においては、変化する心身の機能等には個人差があり、健康の回復が長期化する傾向にあること、高齢社会では、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	①思春期と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ②結婚生活と健康について、自他や社会の課題の解決方法を考え、それらを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	①思春期と健康、結婚生活と健康、加齢と健康について課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。

7 単元の指導と評価計画（全7時間）本時は○印

時	学習内容・ねらい	知	思	態	評価方法
1	(ア) 思春期と健康 「思春期と健康」 I ねらい ・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることについて、理解できるようにする。 II 学習活動 1 思春期の男女に起こる特徴について考える。 2 本時のねらいについて確認する。 3 思春期の女性が無理なダイエットが及ぼす身体への影響について考える。 4 思春期ならではの心理的特徴について考える。 主たる学習内容（知識） ・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じること。 5 取り返しのつかない失敗を防ぐためには、自分の状態を理解したうえで行動を選択していくことが重要であることについて知る。 6 本時のまとめをする。				
		①			ワークシート

2	(ア) 思春期と健康 「性意識と性行動の選択」 I ねらい ・思春期における変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて、理解できるようにする。 ・思春期と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができるようにする。 II 学習活動 1 「男女差」にはどのような差を思い浮かべるか考える。 2 本時のねらいについて確認する。 3 高校生の時期の性的欲求には男女間で、どのような違いがあるか考える。 4 「セクハラ」と思えることにはどのようなことがあるか考える。 主たる学習内容（知識） ・思春期における心身の変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を尊重する態度が必要であること。 5 高校生が得やすい性情報のなかには、誤ったものや単に興味をそそるだけのものがあることについて知る。 6 周囲の情報に影響された性行動（事例）について考える。 主たる学習内容（知識） ・性に関する情報への適切な対処が必要であること。 7 本時のまとめをする。			① 観察・ワークシート ② ワークシート（授業後）
3	(イ) 結婚生活と健康 「結婚生活と健康」 I ねらい ・心身の発達や健康の保持増進の観点から、結婚生活を健康に過ごすための留意点について理解できるようにする。 ・結婚生活と健康について、自他や社会の課題の解決方法を考え、それらを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明することができるようにする。 II 学習指導 1 「結婚に必要な条件」について考える。 2 本時のねらいについて確認する。 3 健康な結婚生活と自己のライフスタイルについて考える。 4 妊娠、出産と健康で幸せな結婚生活について考える。 5 結婚生活を健康で幸せに過ごすには、何が必要か考える。 主たる学習内容（知識） ・結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康への責任、良好な人間関係、家族や周りの人からの支援、母子への健康診査の利用などの保健・医療サービスの活用が必要なこと。 6 本時のまとめをする。			② 観察・ワークシート ③ ワークシート（授業後）
4	(イ) 結婚生活と健康 「妊娠・出産と健康」 I ねらい ・受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題、及び健康課題には年齢や生活習慣などが関わることについて理解できるようにする。			

	II 学習活動 1 本時のねらいについて理解する。 2 妊娠したということはどうにわかるか考える。 3 受精、妊娠、出産までの過程を知る。 4 妊娠によって生じる母体の変化について知る。 主たる学習内容（知識） ・受精、妊娠、出産。 5 妊娠中の健康管理について考える。 6 妊婦に対する配慮すべきことについて考える。 主たる学習内容（知識） ・受精、妊娠、出産に伴う健康課題があること。 7 本時のまとめをする。	④		ワークシート
5	(イ) 結婚生活と健康 「家族計画と人工妊娠中絶①」 I ねらい ・家族計画の意義や、人工妊娠中絶の心身への影響などについて、理解できるようにする。 II 学習活動 1 本時のねらいについて確認する。 2 家族計画の意義を考える。 主たる学習内容（知識） ・家族計画には意義があること。 3 避妊法について知る。 4 人工妊娠中絶について、方法と現状について知る。 主たる学習内容（知識） ・人工妊娠中絶には、心身への影響があること。 5 不妊治療について知る。 6 本時のまとめをする。	⑤		観察・発表
⑥	(イ) 結婚生活と健康 「家族計画と人工妊娠中絶②」 I ねらい ・結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることについて理解できるようにする。 ・結婚生活と健康について、自他や社会の課題の解決方法を考え、それらを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明することができるようにする。 II 学習活動 1 前時を振り返り、本時の学習の見通しをもつ。 2 本時の課題を確認する。 3 アンケート結果を提示し、友達の考えを知る。 4 将来、希望通りに子供を持つためにできることを考える。 5 人工妊娠中絶の現状を知る。 6 若年層の人工妊娠中絶を防ぐために必要なことを考える。 主たる学習内容（知識） ・家族計画には意義があること。 ・人工妊娠中絶には、心身への影響があること。 7 本時のまとめをする。	⑥	②	観察 ワークシート 観察 ワークシート (授業後)

7	(ウ) 加齢と健康 「加齢と健康」 I ねらい ・中高年期を健やかに過ごすためには、自己管理を行うこと、高齢期においては、変化する心身の機能等には個人差があり、健康の回復が長期化する傾向にあること、高齢社会では、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であることについて理解できるようにする。 ・生涯の各段階における健康について課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとすることができるようにする。 II 学習活動 1 中高年の人たちが健康面で不安に思っていることを考える。 2 本時のねらいについて確認する。 3 加齢に伴って中高年に起こる心身の衰え（老化現象）について考える。 主たる学習内容（知識） ・加齢に伴う心身の変化について、形態面及び機能面からあること。 4 今の生活習慣を続けていると、中高年期になった時に不健康になるだろうと思われることはどんなことか。 5 若い頃からの生活習慣の蓄積が中高年の健康に大きく影響を及ぼすことを知る。 主たる学習内容（知識） ・中高年期を健康に過ごすためには、若い時から自己管理をすること、生きがいをもつこと、家族や親しい友人と良好な関係を保つこと、地域と交流を持つことなどが重要であること。 6 高齢社会に到来に応じて、健やかな老後の生活をするための施策提言を考える。 主たる学習内容（知識） ・高齢社会の到来に応じて、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であること。 7 本時のまとめをする。	⑦		① 観察・ワークシート 観察・ワークシート (授業後)
---	--	---	--	---

8 本時の学習と指導（6／7）

（1）ねらい

- ・結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることについて理解できるようにする。 <知識及び技能>
- ・結婚生活と健康について、自他や社会の課題の解決方法を考え、それらを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明することができるようにする。 <思考力、判断力、表現力等>

（2）資料及び準備するもの

・ワークシート ・PC ・プロジェクター

（3）展開

時間	学習内容・活動	指導上の留意点（○指導 ◆評価規準）
導入 5分	1 前時の学習を振り返り、本時の学習の見通しをもつ。	○パワーポイントを用いた具体的な資料を提示して、事前に学習した内容を振り返る。 ○理解が定着するように生徒に質問を投げかける。 ○子育てをするにはどんな困難があるか考えさせる。 ○避妊法の理解があるか。パートナーとともに話し合って選択することが大切であることを伝える。 ○人工妊娠中絶は身体への負担が大きいことを理解させる。 ○人工妊娠中絶が可能な時期は、母体保護法により22週未満と定められているが、その時期の胎児の各器官が形成された状態であることを理解させる。 ○不妊治療の種類について確認する。
	振り返る内容 ・家族計画について（意義など） ・避妊法とその選択について ・人工妊娠中絶について（母体保護法など） ・不妊治療について	
	2 本時の課題を確認する。	○避妊法や人工妊娠中絶、不妊について理解した上で、充実したライフプランにするためにはどうすれば良いのか考える学習であることを伝える。
	【学習課題】 「充実したライフプランにするため、自分にできることを考える」	
	・課題に対する自分の考えを最後まとめられるように促す。	
	3 アンケート結果を提示し友達のことを知る。	○円グラフを見て価値観の違いを知らせる。 ○国勢調査の結果、未婚率、離婚率が増加し、核家族化の影響を受けて単身世帯が増えて
	・結婚や出産についてそれぞれの価値観の違いを知る。 ・世帯の子どもの人数について希望と現実	

展開 3 5 分	の差について知る。 - 人工妊娠中絶の現状を知る。 主たる学習内容（知識） - 家族計画には意義があること。 - 人工妊娠中絶には、心身への影響があること。 質問1 あなたは将来、パートナーや子どもを持ちたいですか ①一人が良い ②パートナーがほしい ③パートナーと子どもがほしい - 集計結果をプロジェクターへ映し出す。 ①～③それぞれの理由を見ていく - 価値観の違いを知る。 質問2 あなたは将来、子どもを持つとしたら何人ほしいですか - 集計結果をプロジェクターへ映し出す。 - インターネットサイト調査結果を見る。 4 将来、希望通りに子供をもつためにできることを考える。 「考えてみよう」 希望通りの人数の子どもを持つためには、どのような工夫や努力をしたら良いと思いますか - グループで話し合い、発表する。 質問3 人工妊娠中絶の最も多い年齢は何歳くらいだと思いますか。	いることを伝える ○子どもを持たずにパートナーと有意義に過ごしている人もいることを知らせる。 ○日本では同性結婚が認められていないが、自治体によってはパートナーシップ制度があるところも増えてきていることを伝える。 ○パートナーと子どもがほしい人が多いことを知らせる。 ○生徒のアンケート結果を読み上げることでそれぞれの価値観に違いがあることを知らせる。 ○どの生き方を選択するかは自由であり、尊重してあげてほしい旨を伝える。 ○『願うときに「こうのとりの木」は来ますか？』P4・5・6・11を説明する。 ○生徒が回答した円グラフを見る。 ○様々な理由により、希望と現実が変わってくることもあることを伝える。 ○グループに分かれて話し合うよう促す。 ○発表者を決めるよう促す。 ○ワークシートに記入するよう促す。 ○各班で出し合った内容を全体に発表させる。 ○希望通り行かないこともあるが、工夫をして計画することが大切であることを伝える。 ○不安にならないために、希望通り行かなくても、その環境で幸せを見出せばよいことを伝える。 ◆結婚生活と健康について、自他や社会の課題の解決方法を考え、それらを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 (観察・ワークシート)【思考・判断・表現】 「努力を要する」状況(C)と判断される生徒への指導の手立て(支援) ・机間指導の中で、既習事項と結び付けて具体的な方法を考えさせる。
--------------------------------	--	---

展 開 3 5 分	・集計結果をプロジェクターへ映し出す。 5 人工妊娠中絶の現状を知る。 指導すべき内容 ・多くの女性が人工妊娠中絶を選択し、心や体に大きな負担をかけていることを知る。 ・20代や40代で人工妊娠中絶を選択する人が多い現状を知る。 ・厚生労働省の人口動向調査結果をプロジェクターへ映し出す。 (1) 「5階級年齢別中絶実施率」のグラフをプロジェクターへ映し出す。 ・人工妊娠中絶を実施した人は20歳から24歳が1番多くなっている。 ・性行為の機会が多いことや恋愛が活発になる時期であること、卵子や精子が元気で妊娠しやすい年代であることが考えられる。 (2) 「5階級別中絶選択率」のグラフをプロジェクターへ映し出す。 ・出産した人数と中絶した人数で中絶選択率を出していることを説明する。 6 若年層の人工妊娠中絶を防ぐために必要なことを考える。 「考えてみよう」 このグラフからどんなことが考えられますか ・ワークシートに記入し、発表してもらう。 【予想される反応】 ・まだ学生でお金がないから(20歳未満) ・育てる力がない(20歳未満) ・まだ自分のやりたいことがある。(20～24) ・結婚前に子どもを出産するのは世間の目が気になる。(20～24) ・今は2人の時間を大切にしたい。(20～24) ・仕事を休むわけにはいかない。(40～44) ・産み育てる体力がない(45～49) ・生徒が出した意見をまとめる。	○生徒が回答した円グラフを見る。 ○人口動向調査について説明する。 ○15～49歳で人工妊娠中絶を実施した女性の割合を見る。 ○生徒の回答では、殆どの人が20歳未満の人工妊娠中絶が多いと予想していたが、実際は20～24歳が最も多いことを伝える。 ○考えられる理由を伝える。 ○「5階級別中絶選択率」を説明する。 ○グラフにしたものを見る。 ○ワークシートの資料を参考に、記入するよう促す。 ○全体に発表させる。 ○生徒が出した意見をまとめる。 ・20歳未満人は育てる環境や能力が備わっていない。 ・20～24歳は望まない妊娠をしやすい。 ・45～49歳は産み育てる体力がない。閉経に近づき、妊娠しないと油断している。など
---------------------------	--	--

ま と め 1 5 分	7 本時のまとめをする。 本時の課題 「充実したライフプランにするため、自分にできることを考える」 ・まとめの取り組み方を説明する。 【予想される反応】 ・自分のライフプランを計画することは大切だということがわかった。 ・女性の心と体を傷つけないために、人工妊娠中絶はしないようにしなければいけないと思った。 ・望まないのであれば、しっかりと避妊をする。 ・命を大事にしたいと思った。 ・不妊治療や流産を乗り越えた出産はすごい。 ・「望まれて生まれてくる」ということがどのようなことなのか、わかった気がする。 8 教師の思いを伝える。	○自分のこれまでの経験を話し、イメージしやすくする。 ○まとめの取り組み方を説明する。 ・自分の考えをワークシートに記入 ・グループ内で発表 ・グループで良かった感想を全体に発表 ○各班に発表させ、考えを深めさせる。 ◆結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。(観察・ワークシート)【知識・技能】 「努力を要する」状況(C)と判断される生徒への指導の手立て(支援) ・机間指導の中で、状況を想像させ、どう考えるか個別指導する。 〈家族計画の必要性〉 ・望むときに妊娠できるように。 ・経済的に困らないために。 ・望まない妊娠をしないように。 ・妊娠しやすい時期を過ぎてしまわないように。 ○充実したライフプランにするためには、家族計画が必要である。時に思い通り行かないとしても前向きにとらえて状況によってライフプランの再構築を行っていけばよいことを伝える。
---	--	--

家族計画と人工妊娠中絶 2

前回の復習

- 1 家族計画について
- 2 避妊法とその選択について
- 3 人工妊娠中絶について
- 4 不妊治療について

69

家族計画とは

自分のライフプランに合わせて、子どもの人数や出産する時期、間隔を考えること

子育てするということは？

子どもがほしい

仕事の問題

- 収入は大丈夫？
- 商売は大丈夫？
- 保育園は大丈夫？

「続ける、辞める、変えるなどをパートナーと考え調整する」

経済的問題

小学校～大学の教育費
Aは公立1943万円
Bは私立2300万円
「教育は収入によって決まる」
「教育費は収入によって決まる」
「教育費は収入によって決まる」

休養の問題

「基本、赤ちゃんが寝ている時以外は休めない」

- 家事の分担
- 自由な時間を作り出す工夫

【体の状態を把握する】
産婦人科で生殖器の状態を検査や検明日のサポートなど受けられる

【出産準備】
「本人の自覚・責任はあるか」「育てる環境はあるか」

避妊法とその選択

	コンドーム	OC/ピル	IUS	リズム法
内容	精子の膣内への放出を防ぐ方法	OC/ピル(定容量経口避妊薬)は女性ホルモンを含んだ薬剤。正しく服用することで効果の高い避妊ができる。	IUS(子宮内システム)は子宮の中に入れる小さな器具で、黄体ホルモンを放出するタイプ。一度の挿入で最長5年間、効果の高い避妊が出来る。	基礎体温を測定することにより、排卵期を知り、避妊の目安にする方法
メリット	・性感染症が予防できる ・手軽に入手できる	・女性主体で避妊できる ・月経周期が規則的になる ・生理の量が減り、生理痛が軽くなる	・女性主体で避妊できる ・生理の量が減り、生理痛が軽くなる ・薬の飲み忘れが少い	・副作用がない ・自分の月経周期を把握できる
デメリット	・装着ミス、ズレ、破損などによる失敗率が高い	・医師による処方が必要 ・毎日服用する必要がある ・副作用が起こることもある	・挿入後数ヶ月間は生理以外の出血が続くことはあるが、時間とともに回数や量は少なくなる ・医師による装着、除去が必要	・毎朝きちんと体温を測定する必要がある ・発熱、過労、ストレスなどで基礎体温が変動し、排卵期が見つけにくくなる場合がある
方法	薬局、コンビニなどで購入できる	医師に処方してもらい、薬局で購入する	医師処方のもと挿入してもらう	婦人科で検診があれば、特に必要なし

安全かつ確実であるとともに、お互いにとって必要な条件を満たすことが大切である。

出産までの流れ (人工妊娠中絶可能時期)

【デメリット】
★母体の心身への影響
★経済的負担

妊娠12週以後の中絶手術を受けた場合、役所に死産届を提出し、胎児の埋葬許可証をもらう必要がある。

妊娠		中絶について
1ヶ月	0～3週目	最速にきた生理の初日
2ヶ月	4週目 5週目 6週目	まだ妊娠と確定できない時期 《目安》次の生理予定日
3ヶ月	7～11週目	妊娠判定診断はこのころからできるようになる ※4週頃から検査ができる薬もあるが、やや正確性は低い
4ヶ月		早期中絶(7週～11週6日まで) 費用：10万円前後 手術は日帰り中心
5ヶ月	12～21週目	中期中絶(～21週6日まで) 費用：30万円～ 通常2～3日の入院が必要
6ヶ月	22～31週目	2を過ぎれば陣の中絶は原則に問わず 入院で施行されている
7ヶ月	32～39週目	《出産する前後》出産予定日の目安
8ヶ月	40週目	正期産？この期間に生まれるのが赤ちゃんにとって望ましい
9ヶ月	41週目	

※医師が母体保護法に適合すると認めた場合のみ、中絶手術を受けることができる。
※40歳以上の中絶は原則の承認書が必要な場合がある。

人工妊娠中絶の方法

母体保護法により、人工妊娠中絶できる時期は22週未満とされている

人工妊娠中絶の方法

そうは法
(説明文+イラスト)

電動吸引法
(説明文+イラスト)

手動真空吸引法
(説明文+イラスト)

中絶薬
(説明文+イラスト)

不妊治療について

《不妊原因を探る》

基本検査 → 精密検査

子作りを始めて半年経っても妊娠しない

《治療を開始する》

精密検査の結果に応じて相談の上、治療を行う

タイミング法

保険適用

- ・1回数千円
- ・医師の指導で排卵日前後に性交をする

人工授精

保険適用外

- ・1回1～2万円
- ・精子を人工的に子宮へ注入する

体外受精

保険適用外

- ・1回20万～60万円
- ・卵子を取り出しシャーレの中で精子と受精させる

本時の課題

充実したライフプランにするため、
自分にできることを考える

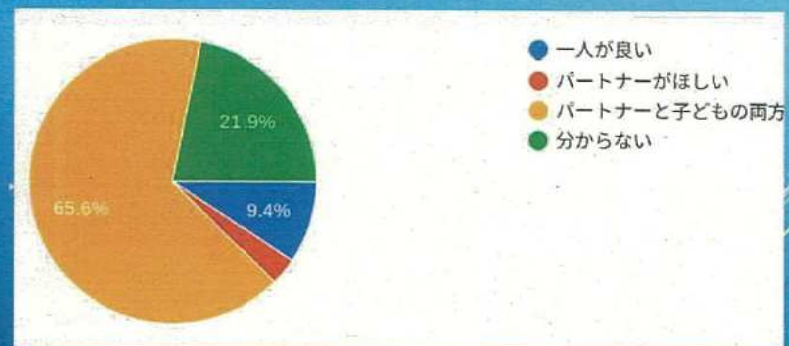
★保健授業アンケート結果

みんなの答えを見てみよう！

★質問 1

あなたは将来、パートナーや子どもを
持ちたいですか

みんなの答え



★質問 1

①「一人が良い」と回答した人の理由

(3 件の回答)

- ・一人の方が好きだし楽。
- ・今のところ子供があまり好きではないから 自分のために時間やお金を使いたいから
- ・今の日本で家庭を築きたいと思えないから。

国勢調査「単身世帯の割合」(総務省)

2015年: 23%

2020年: 38%

未婚率・離婚率の増加、核家族化の影響を受けて単身世帯が増加している。

★質問 1

②「パートナーがほしい」と回答した人の理由

(1 件の回答)

- ・生活が充実するから

★質問 1

③「パートナーと子どもがほしい」と回答した人の理由

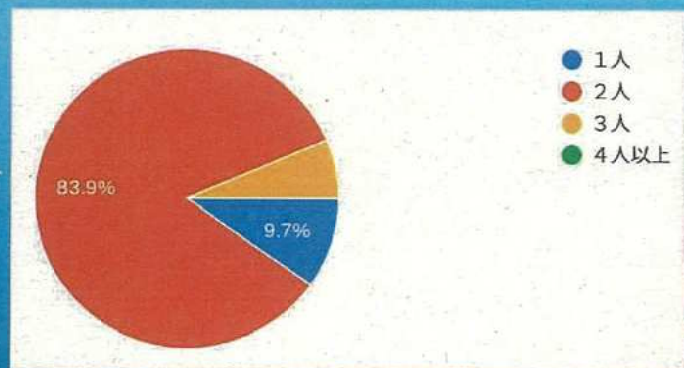
(19 件の回答)

- ・孤独死が嫌だから
- ・将来的には家庭を持ちたいという気持ちがあるから (2)
- ・結婚することも、自分たちの子供を2人で育てていくことも幸せな生き方だと思ったから。 (4)
- ・両親を見ていて幸せそうだったから (2)
- ・今現在の家族がこの構成でできていてとても幸せだから。 (2)
- ・子孫繁栄
- ・「大人になったら結婚して子供を持つ」という固定概念があるのが一番大きい理由だと思う。強い願望がある。訳ではないが、なんとなくそう思う。
- ・生涯孤独よりも絶対楽しいと思うから (2)
- ・家庭を持ちたい、父、母の喜び、悲しみなどを知りたい
- ・結婚生活は大変そうだけど、独身で長い人生過ごしていくのはつまらない人生になりそうだから
- ・誰かと一緒に暮らしてれば自堕落な生活にもなりにくいし楽しい・人間も所詮はただの生き物だから子供を持つべき、少子化の予防にもなる
- ・親に安心してもらいたい子供を育てることで自分も成長できる
- ・充実しそうだから

★質問 2

あなたは将来、子どもを持つとしたら何人ほしいですか

みんなの答え



(インターネットサイト「縁結び大学」調査)
20代から40代の男女231人の調査結果

希望している(していた)子どもの人数は？

いま、お子さんは何人？(出産予定を含む)

欲しかった子供の人数を授かることができた？

希望していた人数より、
実際の子どもの人数が少ない理由は？

【年代別】子どもが受けられる助成制度一覧

助成制度	0歳～未就 園※注1	未就学※注 2	小学生	中学生	高校生高専 (1～3年)	高専(4～5年) 専門学校大学 生

考えてみよう！

希望通りの人数の子どもを持つため
には、どのような工夫や努力をした
ら良いと思いますか

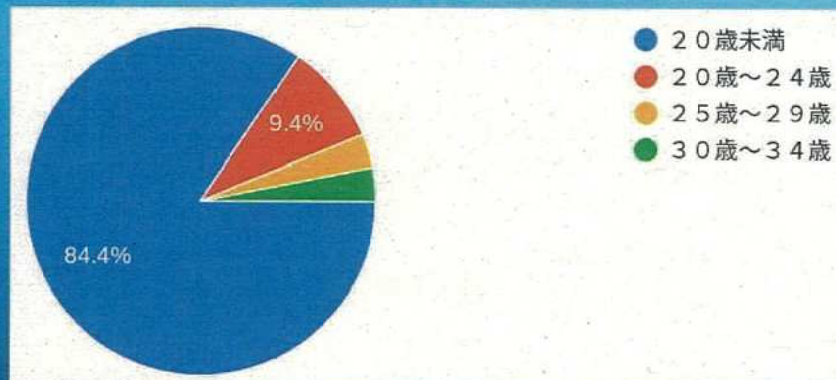
★グループで話し合ってワークシートに書いてください

希望通りの人数の子どもを持つためにした
工夫や努力は？

★質問3

人工妊娠中絶の最も多い年齢は何歳くらいだと思いますか

みんなの答え

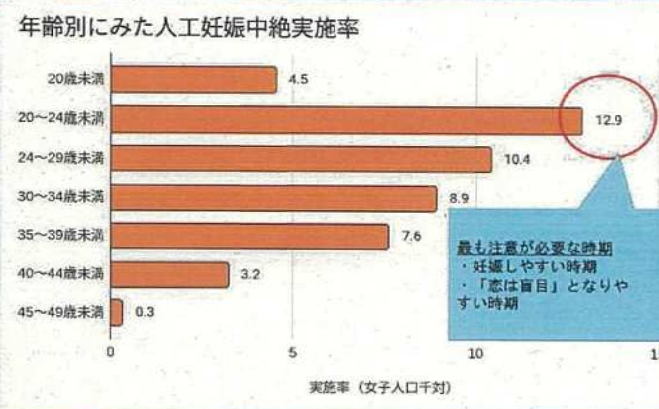


75

厚生労働省の人口動向調査結果を見てみよう！

この調査は、国民が役所に届ける「婚姻票」「離婚票」「出生票」「死亡票」「死産票」の5種類について、各市町村長と各保健所長に調査したものである。

①5階級年齢別中絶実施率（厚生労働省2017年調査）

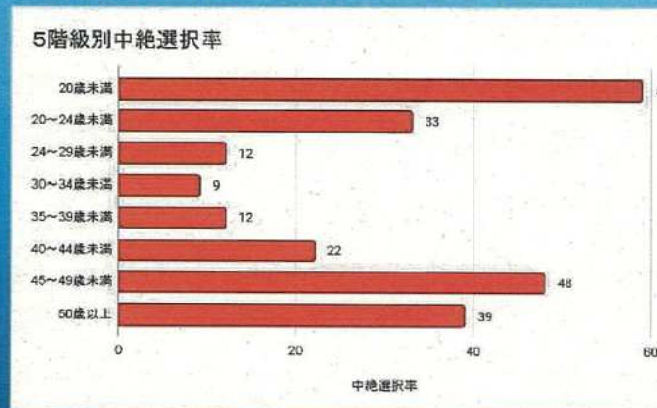


20～24の人工妊娠中絶が最も多い（厚生労働省調査）

②5階級別中絶選択率（厚生労働省2017年調査）

年齢（歳）	出産数A	中絶数B	中絶選択率 B/（A+B）%
20歳未満	9,898	14,128	59%
20～24歳	79,264	39,270	33%
25～29歳	240,933	32,222	12%
30～34歳	345,419	33,082	9%
35～39歳	216,938	29,641	12%
40～44歳	52,101	14,876	22%
45～49歳	1,450	1,363	48%
50歳以上	62	39	39%
全年齢	946,065	164,621	15%

②5階級別中絶選択率（厚生労働省2017年調査）



★考えてみよう！

このグラフからどんなことが考えられますか

★ワークシートに書いてください

本時の課題

充実したライフプランにするため、
自分にできることを考える

- ①課題に対して自分の考えや、この単元「家族計画と人工妊娠中絶」について学んだ感想をワークシートに記入
- ②グループ内で発表
- ③グループで良かった感想を全体発表

最後に・・・

人生の先輩が時々「幸せだな」と感じる瞬間

- ★子どもとハグする瞬間
- ★子どもが楽しそうに学校の話をする瞬間
- ★夫と前向きな未来の話をしている瞬間
- ★友達とおしゃべりしている瞬間
- ★バッティングセンターで良い当たりした瞬間
- ★生徒が保健室で辛いことがあって泣いていたけれど、その数日後に笑顔でいる姿が見られた瞬間

最後に・・・

みなさんが小さくても幸せな人生を送って
くれることを願っています。

家族計画と人工妊娠中絶②

令和 年 月 日

年 組 番氏名

考えてみよう！

1、希望通りの子どもを持つためには、どのような工夫や努力をしたら良いと思いますか

2、このグラフからどのようなことが考えられますか

②5階級別中絶選択率（厚生労働省2017年調査）



本時の課題「充実したライフプランにするため、自分に出来ることを考える」

《学んだことを踏まえ、課題に対しての自分の考えや感想を記入しましょう》

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会設置要綱

(設置)

第1条 学校における性に関する指導の充実を図るため、埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(事業)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事業を所掌する。

- (1) 児童生徒の発達段階や地域の実態に応じた性に関する指導のための指導計画の研究
- (2) 各学校における効果的な指導法や指導教材に関する研究
- (3) 性に関する指導の授業研究会の実施とその効果の検証に関する研究

(組織)

第3条 委員会は、別表に掲げる委員をもって構成する。

- 2 委員会に委員長を置き、学識経験者をもって充てる。
- 3 委員会に副委員長を置き、埼玉県教育局県立学校部保健体育課長及び県立学校長又は市町村立学校長をもって充てる。

(運営)

第4条 委員長は、委員会を総括する。

- 2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(任期)

第5条 委員の任期は、令和5年2月28日までとする。

(会議)

第6条 委員会は、委員長が招集し、議長を務めるものとする。

- 2 委員長が、必要と認めるときは、別表に掲げる者以外の県及び市町村等、関係機関の職員の出席を要請することができる。

(事務局)

第7条 委員会は、事務を処理するために、事務局を埼玉県教育局県立学校部保健体育課内に置く。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し、必要な事項は委員長が別に定めるものとする。

附 則

この要綱は、令和4年6月6日から施行する。

別 表（第3条関係） 委員

学識経験者
公立学校校長
教諭
養護教諭
保健体育課長

学校健康教育推進事業(「性に関する指導」課題解決支援事業)

【児童生徒を取り巻く状況】

- ・ 性情報の氾濫など社会環境の急激な変化により、子供たちの心身の健康に大きな影響を与えている。
- ・ 若年層のエイズ及び性感染症や人工妊娠中絶が問題となっている。

【課題】

- ・ 子供たちが性に関して適切に理解し、行動できるようにすること。
- ・ 心身の発育・発達と健康や性感染症の予防などに関する知識を確実に身に付けること。
- ・ 自他を尊重する心を育むこと。

埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会の開催

- 埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会を設置し、発達の段階に応じた効果的な性に関する指導方法の研究を行う。

- ・ 県における課題の把握
 - ①性感染症 ②人工妊娠中絶
 - ③性情報への対処
 - ④家族計画の意義 など

- ・ 課題解決方法の協議、検討
- ・ 事業成果の検証
- ・ 事業成果の普及・啓発

【構成員】

有識者、学校関係者 等

指導
助言

報告

「性に関する指導」指導者研修会の開催

- 性に関する健康課題を受け、指導方法の普及推進を図るため、学校における指導者を対象に研修会を開催

- ・ 行政説明
- ・ 実践発表
- ・ 講演会

「性に関する指導」授業研究会の開催

- 発達の段階に応じた効果的な性に関する指導方法について授業研究会を実施。

- ・ 校種別に授業研究会を開催
- ・ 研究協議 等

子供たちの豊かな心と健やかな体を育成する

令和4年度 埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会名簿

		氏 名	所 属	職 名
1	委員長	戸部 秀之	埼玉大学教育学部	教 授
2	副委員長	岩澤 奈々子	川口市立前川東小学校	校 長
3	副委員長	松中 直司	教育局県立学校部保健体育課	課 長
4	委員	川尻 鈴ノ介	県立北本高等学校	教 諭
5	〃	斉藤 美智子	県立和光国際高等学校	養 護 教 諭
6	〃	小貫 拓也	県立川越初雁高等学校	教 諭
7	〃	三好 明日美	所沢市立所沢中学校	養 護 教 諭
8	〃	松島 直司	深谷市立深谷中学校	主 幹 教 諭
9	〃	江夏 彩香	春日部市立東中学校	教 諭
10	〃	高橋 陽太	桶川市立加納小学校	主 幹 教 諭
11	〃	阿部 真子	小鹿野町立小鹿野小学校	養 護 教 諭
12	〃	藤田 晃輔	八潮市立八幡小学校	教 諭

1	事務局	遠井 学	教育局県立学校部保健体育課	主 任 指 導 主 事
2	〃	脇田 一亮	教育局県立学校部保健体育課	主 幹
3	〃	澤村 文香	教育局県立学校部保健体育課	指 導 主 事
4	〃	咲間 悟	教育局県立学校部保健体育課	指 導 主 事

令和4年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業
実施報告書

埼玉県教育局県立学校部保健体育課

課長	松中 直司
教育指導幹事	大松 武晴
主任指導主事	遠井 学
主幹	脇田 一亮
主査	峰岸 宏次
指導主事	澤村 文香
指導主事	咲間 悟
指導主事	龍野 雅美
主事	滝澤 愛

令和5年3月発行

さいたま市浦和区高砂3-15-1

電話 048-830-6963



埼玉県マスコット「コバトン」
「さいたまっち」